



姫路文学館

第12回 藤原正彦 エッセイコンクール

生きることは創ること

これは、姫路文学館長 藤原正彦の言葉です。
出会った人や書物、あるいは孤独や沈黙…
自分を見つめ考えたことを文章にしてみてください。

本賞は、知的なユーモアと明晰な論理性を備えた数々のエッセイで多くの愛読者を持つ藤原館長が「読書」とともに推奨する「書くこと」の大切さを伝えるため創設しました。



募集要項

5月12日(火)
受付開始

応募資格 中学生以上

部門 ◎中学生部門
◎高校生部門…専門学校生等、これに相当する方も含む
◎一般部門…上記を除く方

テーマ 自由 (好きなテーマでお書きください。)

審査員 藤原正彦 (数学者・作家・お茶の水女子大学名誉教授)



昭和18年旧満州生まれ。新田次郎・藤原てい夫妻の次男。東京大学理学部数学科卒業、同大学院修士課程修了。理学博士(東京大学)。コロラド大学助教授、お茶の水女子大学理学部教授を歴任。昭和53年『若き数学者のアメリカ』で日本エッセイストクラブ賞、平成22年『名著講義』で文藝春秋読者賞、平成26年『孤愁』でロドリゲス通事賞、令和7年菊池寛賞を受賞。そのほか、『国家の品格』『本屋を守れ』など著書多数。平成26年4月、姫路文学館長に就任。

賞 各部門とも、〈最優秀賞〉〈優秀賞〉〈佳作〉各1編
賞状、藤原正彦館長のサイン入り著書と副賞を贈呈します。

副賞	最優秀賞	優秀賞	佳作
中学生部門	図書カード 1万円分	図書カード 5千円分	図書カード 2千円分
高校生部門	図書カード 3万円分	図書カード 1万円分	図書カード 5千円分
一般部門	10万円	3万円	1万円

- 応募方法 郵送に限ります。
(メール、ファクス等での応募は受け付けておりません。)
- 送付先 〒670-0021 兵庫県姫路市山野井町84番地
姫路文学館「藤原正彦エッセイコンクール」係
- 発表 令和8年(2026年)12月下旬
入賞者に直接通知するほか、姫路文学館ホームページ、新聞等で発表します。
- 表彰式 令和9年(2027年)1月17日(日)
姫路文学館 講堂(北館3階)
- 作品の掲載 入賞作品は本賞作品集および姫路文学館ホームページに、掲載します。

締切

令和8年(2026年)

9月17日(木) 必着

問合せ先

審査内容についてのお問合せには応じられませんのでご了承ください。

姫路文学館 TEL079-293-8228

姫路文学館



表紙および原稿はゼムクリップで留めてください。

第12回 藤原正彦エッセイコンクール 表紙

① 部門

中学生 ・ 高校生 ・ 一般

② 題名

③ 氏名（ふりがな）

④ 郵便番号・住所

〒

⑤ 電話番号

⑥ 生年月日 ※西暦でお願いします

年 月 日

⑦ 職業もしくは学校名・学年

※応募者の個人情報は、本賞に関する業務以外には使用いたしません。

応募規定

- 400字詰め原稿用紙縦書き5枚以内。
ワープロ・パソコン原稿の場合は縦書き20字×20行とし5枚以内。
いずれもA4サイズの内紙を使用してください。
- 原稿には、A4サイズの表紙をつけてください。（本紙をご利用いただいても結構です。コピーも可。）
表紙には、①部門、②題名、③氏名（ふりがな）、④住所・郵便番号、⑤電話番号、⑥生年月日、
⑦職業（学生の場合は学校名・学年）を記入してください。
- 原稿は、1行目に題名を書き、2行目から本文を書き始めてください。（題名も含めて5枚以内）。
- 表紙および原稿は、ホチキスではなくゼムクリップで留めてください。
- 一人1編のみ応募可。
- 作品は、日本語で書かれた自作で未発表のものに限ります。
- いったん提出された作品の変更はできません。
- 作品の到着確認のお問合せには対応できません。
郵便の追跡サービス等、各自でご確認ください。
- 作品の返却はいたしません。

学校の先生へ
お願い 学校単位で応募される場合は、姫路文学館ホームページから
「学校応募用紙」をダウンロードして記入し、一緒にお送りください。

令和8年(2026年)

締切 9月17日(木) 必着

送付先 〒670-0021
兵庫県姫路市山野井町84番地
姫路文学館
「藤原正彦エッセイコンクール」係